

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社NFKホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6494 URL http://www.nfk-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 悦章
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 神戸 英昭 TEL 03(6419)7197
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,106	5.2	△13	—	5	△92.8	645	841.1
2023年3月期第2四半期	1,051	11.9	54	82.5	74	106.8	68	171.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 600百万円 (838.9%) 2023年3月期第2四半期 63百万円 (322.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	14.66	—
2023年3月期第2四半期	1.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,719	4,947	86.5
2023年3月期	5,399	4,346	80.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,947百万円 2023年3月期 4,346百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,170	0.6	65	△57.4	65	△52.9	670	446.2	15.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社 (社名)、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	44,051,274株	2023年3月期	44,051,274株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	419株	2023年3月期	419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	44,050,855株	2023年3月期2Q	44,050,855株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐ中で、経済活動の正常化に向けた動きが進み、雇用・所得環境が改善するなど景気は緩やかな回復傾向で推移いたしました。

その一方で、ウクライナ情勢の長期化や円安などを背景とした燃料及び原材料の高止まりに加え、世界的な金融引き締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響、物価上昇などによる下ぶれリスクなど、国内外の経済の先行きについては、依然として不透明感がますます高まる状況となっております。

当社グループにおきましても、海外案件を含め、引き合い等については確実に上向いてきているものの、コロナ禍以前の水準と比較すると依然として厳しい状況で推移しております。

これらの状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高につきましては、11億6百万円（前年同四半期比5.2%増）となりました。また、利益面につきましては、工業炉部門において追加原価が発生したことなどから、営業損失1千3百万円（前年同四半期は営業利益5千4百万円）、経常利益5百万円（前年同四半期比92.8%減）、また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、2023年8月に旧本社跡地を売却したことなどから6億4千5百万円（前年同四半期比841.1%増）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

（a）工業炉燃焼装置関連

工業炉燃焼装置関連事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高11億6百万円（前年同四半期比5.2%増）となりました。また、利益面におきましては、工業炉部門において追加原価が発生したことなどから、営業損失7千3百万円（前年同四半期は営業利益5百万円）となりました。

（b）その他

その他の事業につきましては、子会社からの不動産賃貸収入、経営指導料等が収益の中心となっております。当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高は1億4千1百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は1億3千万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて5.9%増加し、57億1千9百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて39.5%増加し、36億1千8百万円となりました。主な内訳としては現金及び預金が9億5千2百万円の増加となったこと、受取手形、売掛金及び契約資産が3千3百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて25.1%減少し、21億円となりました。主な内訳としては固定資産の譲渡により、建物及び構築物3千3百万円減少、機械装置及び運搬具1千3百万円減少、土地6億2千7百万円減少したことなどによります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて26.7%減少し、7億7千1百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.7%減少し、6億円となりました。主な内訳としては支払手形及び買掛金が2千2百万円減少したこと、1年内返済予定の長期借入金が1億9千7百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて55.0%減少し、1億7千1百万円となりました。主な内訳としては長期借入金が2百万円減少したこと、再評価繰延税金負債が2億2百万円減少したことなどによります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて13.8%増加し、49億4千7百万円となりました。主な内訳としては親会社株主に帰属する四半期純利益6億4千5百万円を計上したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国経済の先行きにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大については落ち着きを見せる一方で、世界的な金融引締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響、物価上昇等による下振れリスクなど国内外の経済は不透明感が益々高まる状況となっております。このような状況の中、当社グループでは「事業基盤の強化」、「成長戦略を支える強固な経営基盤の構築」、「環境・社会・ガバナンスを重視した経営」の3つの経営基本方針を掲げて全社を挙げて取り組み、年度計画の実現に向け全力で取り組んでまいります。以上を踏まえ、2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高は21億7千万円、また、利益につきましては、工業炉部門において想定外の追加費用等があったことなどから、営業利益は6千5百万円、経常利益は6千5百万円、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2023年8月に固定資産の譲渡益等を計上したことから6億7千万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,385,086	2,338,072
受取手形、売掛金及び契約資産	931,496	965,114
仕掛品	70,191	114,222
原材料	162,186	152,456
その他	45,343	49,002
流動資産合計	2,594,304	3,618,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	153,308	119,491
機械装置及び運搬具(純額)	14,981	1,111
土地	768,883	141,457
その他(純額)	18,756	21,566
有形固定資産合計	955,930	283,626
無形固定資産		
ソフトウェア	2,164	2,059
無形固定資産合計	2,164	2,059
投資その他の資産		
投資有価証券	1,586,859	1,548,410
長期貸付金	249,000	249,000
破産更生債権等	59,537	59,237
その他	11,443	17,356
貸倒引当金	△59,537	△59,237
投資その他の資産合計	1,847,303	1,814,766
固定資産合計	2,805,397	2,100,452
資産合計	5,399,701	5,719,320

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,639	332,668
短期借入金	8,000	12,000
1年内返済予定の長期借入金	203,339	5,724
未払法人税等	6,643	70,919
賞与引当金	30,876	26,945
工事損失引当金	—	31,305
完成工事補償引当金	1,272	3,000
その他	66,156	117,662
流動負債合計	671,928	600,225
固定負債		
長期借入金	36,661	33,799
再評価に係る繰延税金負債	222,454	20,395
退職給付に係る負債	97,319	96,823
その他	24,443	20,485
固定負債合計	380,878	171,502
負債合計	1,052,807	771,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,341,508	3,341,508
利益剰余金	469,314	1,497,065
自己株式	△210	△210
株主資本合計	3,910,611	4,938,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,619	△29,338
土地再評価差額金	420,663	38,567
その他の包括利益累計額合計	436,283	9,228
純資産合計	4,346,894	4,947,591
負債純資産合計	5,399,701	5,719,320

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,051,217	1,106,120
売上原価	762,294	883,763
売上総利益	288,923	222,356
販売費及び一般管理費	234,527	235,448
営業利益又は営業損失(△)	54,395	△13,092
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,913	2,840
持分法による投資利益	14,249	6,754
為替差益	2,222	6,321
貸倒引当金戻入額	300	300
その他	2,855	2,869
営業外収益合計	21,541	19,086
営業外費用		
支払利息	591	578
その他	635	—
営業外費用合計	1,227	578
経常利益	74,709	5,415
特別利益		
固定資産売却益	—	531,496
特別利益合計	—	531,496
特別損失		
固定資産売却損	—	21,712
事務所移転費用	2,687	—
特別損失合計	2,687	21,712
税金等調整前四半期純利益	72,022	515,200
法人税、住民税及び事業税	3,413	71,603
法人税等調整額	—	△202,059
法人税等合計	3,413	△130,455
四半期純利益	68,609	645,655
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,609	645,655

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	68,609	645,655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,874	△27,955
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,501	△17,003
その他の包括利益合計	△4,626	△44,958
四半期包括利益	63,982	600,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,982	600,697
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

当該事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当該事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当該事項はありません。

(セグメント情報)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	工業炉燃焼装置 関連	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,051,217	—	1,051,217	—	1,051,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	138,000	138,000	△138,000	—
計	1,051,217	138,000	1,189,217	△138,000	1,051,217
セグメント利益	5,140	127,400	132,540	△78,144	54,395

(注) 1. セグメント利益の調整額△78,144千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	工業炉燃焼装置 関連	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,106,120	—	1,106,120	—	1,106,120
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	141,000	141,000	△141,000	—
計	1,106,120	141,000	1,247,120	△141,000	1,106,120
セグメント利益又はセグメン ト損失 (△)	△73,224	130,665	57,440	△70,533	△13,092

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△70,533千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません